

陳情第125号	受理年月日	平成27年12月7日
付託委員会	環境建設委員会	
陳情者	八幡東区尾倉三丁目3-22 八幡市民会館と八幡図書館の存続問題を考える会 代表 三崎 英二	
件名	八幡市民会館及び八幡図書館の存続による小伊藤山公園周辺及び帆柱ケーブルの整備・充実について	
要旨		
<p>当会は、八幡市民会館と八幡図書館がかけがえのないものであって、決して廃止・解体の対象にしてはならないと考え、1年6カ月を超えてもなお存続を求め続けている。</p> <p>景観重点整備地区・国際通りの中心部分を占める八幡市民会館から八幡駅までの一帯は、戦後の戦災復興都市計画事業で国内有数の理想的な工業・文化都市が完成したと評価されている地である。その中でも小伊藤山公園周辺は戦災からの復興と鎮魂の場であり、国際通り全体が文化の殿堂として、市民が愛着と誇りを強く持っているエリアである。</p> <p>このエリアの借景となっているのが新日本三大夜景に選定されている皿倉山であり、帆柱ケーブルの整備・充実を行い、観光資源とすれば、門司港レトロ地区と並ぶ本市の観光拠点となる。世界遺産との連携により地域の活性化と発展の可能性が大きくなり、本市の発展につながる。</p> <p>八幡市民会館と八幡図書館が解体され、周辺樹林が伐採されれば、小伊藤山公園周辺の環境は大きく損なわれ、公園と帆柱ケーブルを整備しても利用者増や活性化は見込めなくなると考える。八幡東区の象徴を消し去り、年間の利用者7～8万人を追い出しておいて、公園・帆柱ケーブル整備を行うことは、にぎわいのあるまちづくりに逆行する。</p> <p>については、次のとおり措置していただきたい。</p>		
記		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小伊藤山公園周辺及び帆柱ケーブル整備計画の中に、八幡市民会館と八幡図書館の存続を位置づけること。</li> <li>2 門司港レトロ地区に並ぶ新たな観光エリアの創出を図る広い視点で</li> </ol>		

(続 く)

整備計画を進め、にぎわいのあるまちづくりを実現すること。